

工事事務(速報)の情報提供について

工事の安全管理には、日頃から万全を期していただいているところでありますが、この度、残念ながら別紙に示す工事事務が発生しました。

各事務(管理)所の工事現場において、このような工事事務が再び発生することのないように工事事務概要を皆様にお知らせ致します。

本資料を活用し、請負業者を適切にご指導頂き、再発防止に努めて頂きますようお願い致します。

【工事事務(速報)発生状況】 (H22.12.31現在)

	12月発生件数	累計件数	死亡者数	負傷者数
平成22年度(今年度)	5件	60件	2人	20人
平成21年度(昨年度)	11件	77件	1人	31人

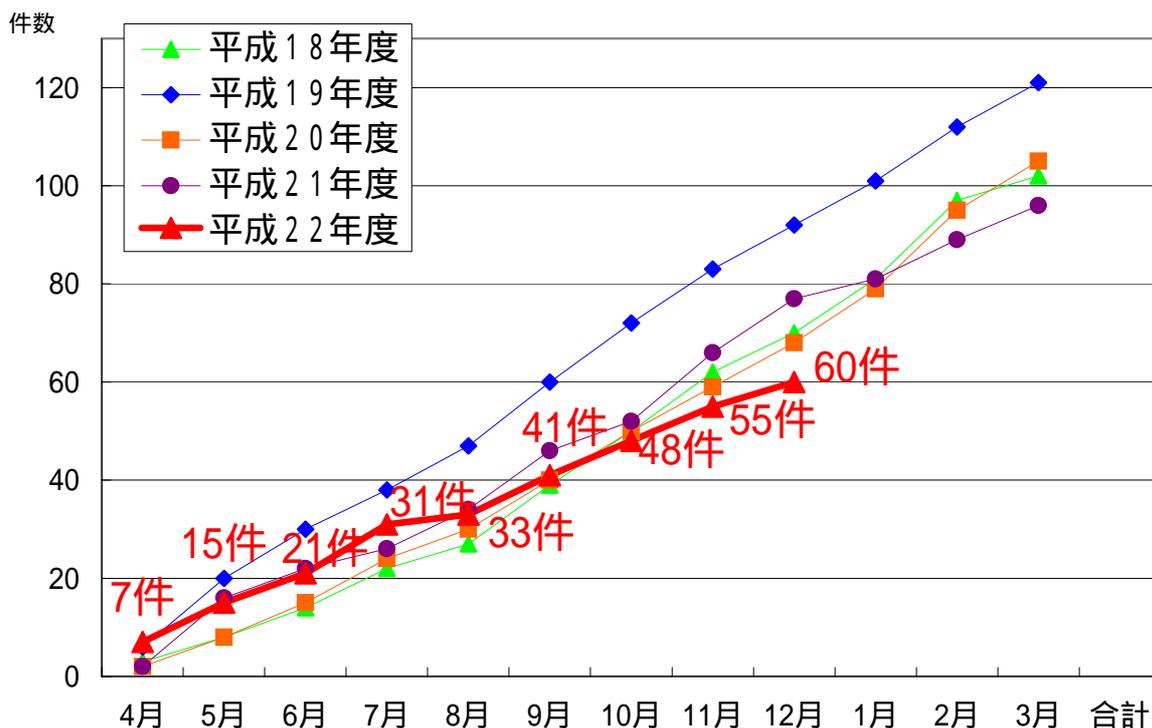
注1) 上記は、関東地方整備局管内の工事事務発生件数(速報)を示す。

注2) 「12月発生件数」は、12/1～12/31の間に起きた件数。(月毎分)

注3) 「累計件数」は、4/1～12/31の間に起きた件数。(累計分)

注4) 「死亡者数」・「負傷者数」は、4/1～12/31の累計人数を示す。

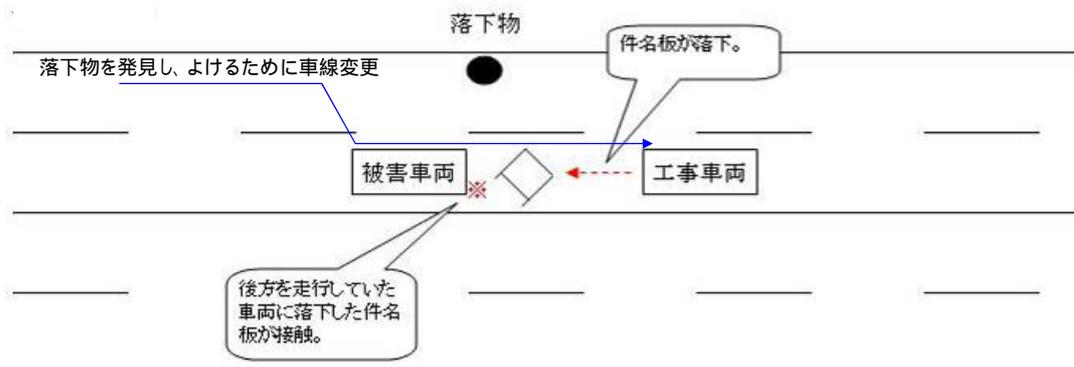
注5) 平成22年度の数字は「速報」であり、審査の結果、「不問」になる可能性がある。



問合せ先: 企画部 技術調査課 渡辺・直海 (TEL 048-600-1332)

発生日時	平成 22 年 12 月 7 日 (火) 16 時 30 分			天候	曇
工事情報	道路系事務所 維持修繕工事				
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度	
	-	-	-	一般車両損傷	
事故概要	作業終了後、基地に戻るため一般道を走行中に、件名板が荷台から落下し、一般車両に接触、損傷させたもの。				

事故発生状況



落下した看板
(上部の荷台に積んでいた)



一般車両損傷状況

【事故発生原因】

- ・風の影響を受けやすい上部の開いた高所に看板を積んでいたため。
- ・ロープをしっかり結んでいなかったため。

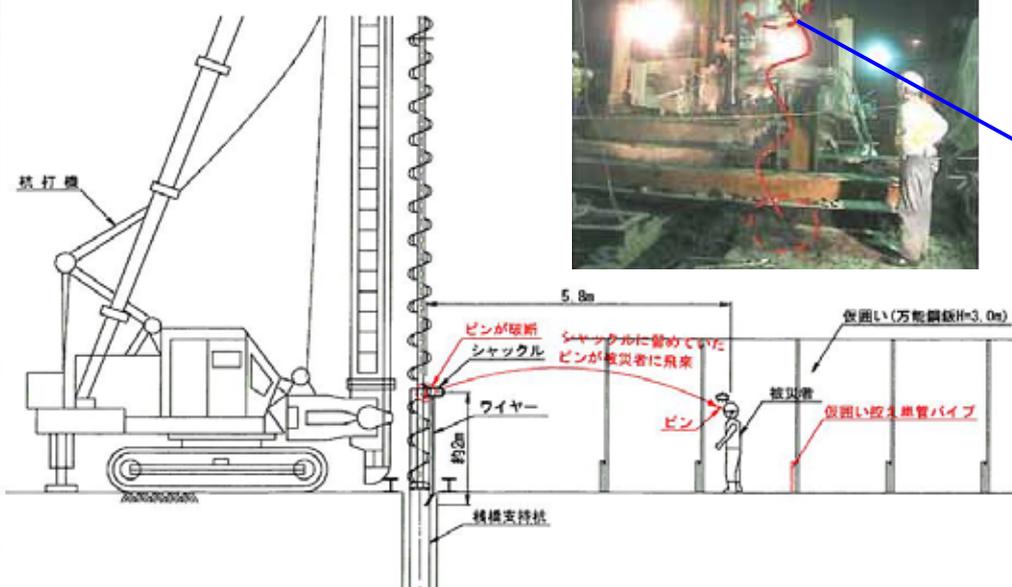
【事故防止のポイント】

- ・(下部の)荷台に立てて積み込めるスペースを確保する。
- ・運転手と確認者で積荷の確認を行うなど

発生日時	平成 22年 12月 8日 (水) 17時 5分			天候	晴
工事情報	道路系事務所 一般土木工事				
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度	
	男	22	作業員	頭蓋骨骨折・頭部裂傷	
事故概要	杭を引き抜く際に、ワイヤーロープを連結するために使用したシャックルのボルトが破断して飛来し、作業員に当たって負傷したものの。				

事故発生状況

(事故状況断面図)



・支持杭工において支持杭建込み作業中、杭が高止まりしたため、クローラークレーンで引き抜き作業を行っていた。

・クレーンで引き抜けなかったため、杭打機のオーガのウインチにて相吊しようとしたところ、スクリューに取り付けたシャックルのピンが破断して飛来し、被災者の頭部に衝突し骨折する。

・衝突の衝撃で被災者が転倒した際、置いてあった単管に接触し頭部を裂傷。

【事故発生原因】

- ・杭が引き抜けなかったため、下請の独断で作業手順を変更し、杭打ち機のウインチを使用して作業した。
- ・シャックルを誤った方法で使用した。など

【事故防止のポイント】

- ・不測の作業が発生した場合は、元請を含め作業関係者間で作業方法、安全対策等を確認して作業する。
- ・作業方法に応じた使用機械を選定するとともに、用具類は適切な方法で取り扱う。など

発生日時	平成 22 年 12 月 16 日 (木) 15 時 5 分	天候	曇
工事情報	河川系事務所 役務		
被災の状況	性別	年齢	職種
	-	-	-
事故概要	官用車損傷 駐車場に止めようとした際に、車両が手すりに接触し損傷させたもの。		

事故発生状況



駐車場



接触した手すり



車両損傷状況

【事故発生原因】

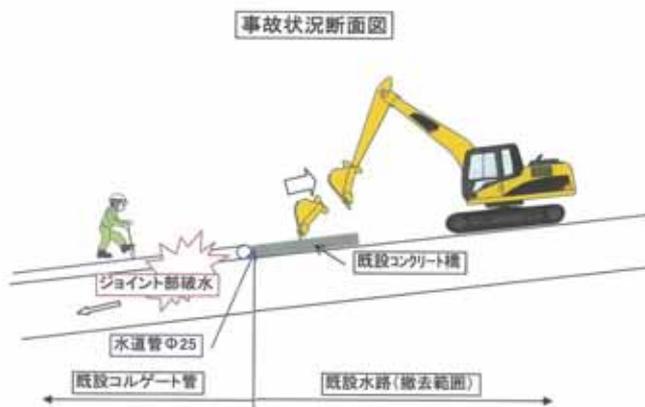
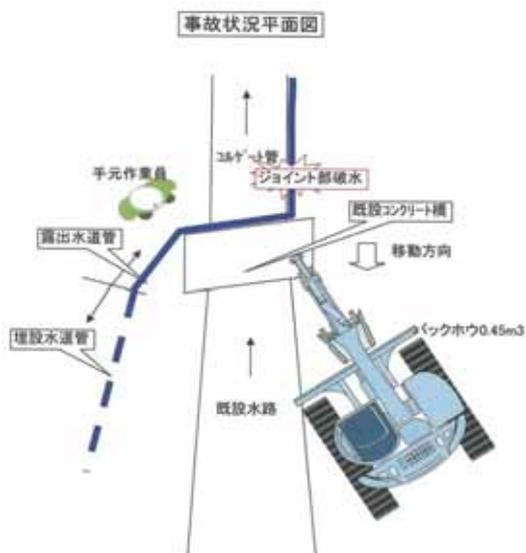
- ・運転手の後方確認不足によるもの。

【事故防止のポイント】

- ・車両安全運転教育の徹底。
- ・降車して周囲を確認し、支障物を把握する。
など

発生日時	平成 22年 12月 22日 (水) 8時 45分			天候	雨
工事情報	河川系事務所 一般土木工事				
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度	
	-	-	-	水道管損傷(断水3軒、断水時間1時間45分)	
事故概要	既設構造物撤去作業中、水道管(露出管)を破損させたもの。				

事故発生状況



・既設水路撤去作業において、既設コンクリート橋を、バックホウで引きずる際、隣接していた水道管も一緒に移動してしまい、付近のジョイントが抜け破水した。

現場状況

【事故発生原因】

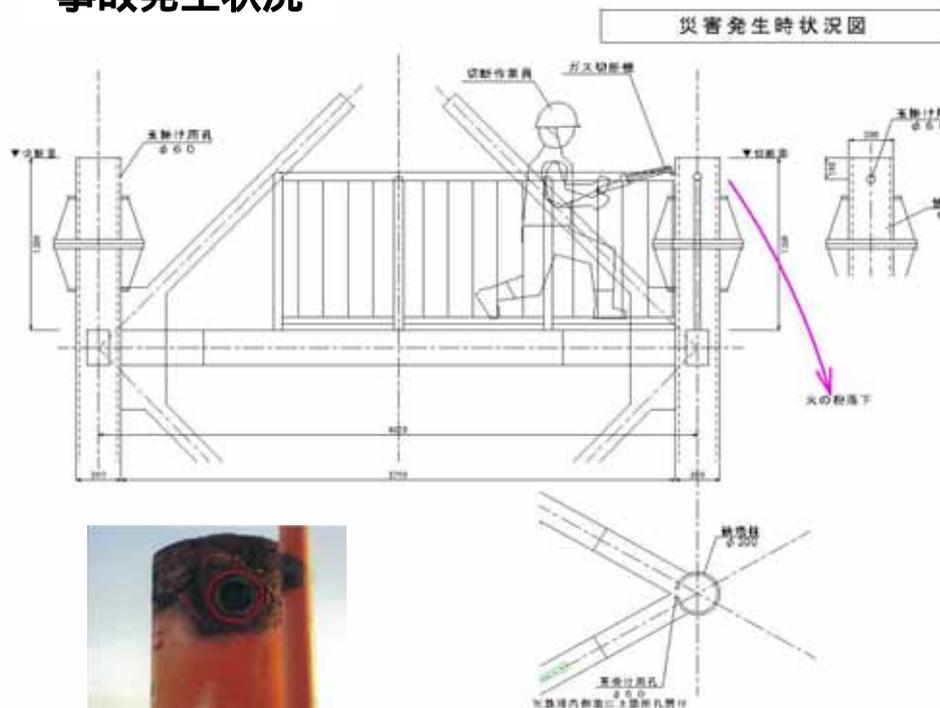
・水道管の配管状況を十分確認せずに作業を進めたため。
など

【事故防止のポイント】

・事前に作業箇所周辺の状況を確認し、配管等は損傷させないよう保安措置を講じたうえで作業に取りかかる。
など

発生日時	平成 22年 12月 23日 (木) 11時 57分			天候	晴
工事情報	管繕系事務所 建築工事				
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度	
	-	-	-	草地約300m ² 消失	
事故概要	鉄塔解体作業にて、鋼管柱に玉掛け用の穴をガスバーナーにて開ける作業を行ったところ、火花が地上に落下して枯れ草に引火し、延焼させたもの。				

事故発生状況



フックを引っ掛けるための穴

・鉄塔上部にて鋼管柱をガス切断後、クレーンにて吊り下ろす作業を行っていた。

・そのため、鋼管柱頂部付近にフックを引っ掛けるための穴をガスで開ける必要があった。

・途中、1箇所穴あけ作業を忘れたことに気付かず、独断で養生をしないでガスにより穴明け作業を行った。

・その際、火の粉が落ち、地上の雑草に引火して火災が発生した。



解体作業の状況



延焼箇所

【事故発生原因】

・周囲に火花が飛び散る作業において、養生をせずに作業したため。
など

【事故防止のポイント】

・火気使用時の防火措置の実施。
・作業関係者への作業手順の周知徹底。
など